

臨床研究等の情報公開

研究課題名	難聴の遺伝子解析と臨床応用に関する研究
研究機関	信州大学医学部人工聴覚器学講座 青森市民病院 ほか
研究内容	<p>難聴の原因として遺伝子の関与するものが多くの割合を占めることが明らかとなってきました。そして難聴の原因が特定されることにより、どのようなタイプの難聴か、将来進行するのか、どのような症状や病気を伴うのかなど、今後の治療に有用な情報が得られるようになってきました。2012年より保険検査にて遺伝学的検査が可能となりましたが、本研究では、保険診療の検査で診断に至らなかった難聴の確定診断をすることを目的としています。さらに、遺伝子変異毎の臨床的特徴の検討および今後の診断率の向上をも目的として研究をいたします。</p> <p>本研究は日本全国での多施設研究であり、本院でも本研究へ参加しております。</p>
実施期間	倫理委員会承認日～令和9年3月31日
対象者	研究期間中に本院を受診した遺伝子の関与が疑われる難聴を認める患者様（非症候群性難聴、症候群性難聴、若年発症型両側性感音難聴、中耳・内耳奇形など）およびその親族様を対象とします。年齢・発症時期・発症の誘因などは問いません。
実施方法	<p>病気の情報を得るために、診療情報（カルテ）を拝見させていただくとともに、家系情報などを問診させていただきます。</p> <p>その後通常の血液検査と同じ方法で採血させていただきます。また、多くの場合、難聴のある患者さんに見つかった遺伝子変異が難聴の原因かどうかを確認するために、ご家族のサンプルが必要となるため、ご家族の方の採血・問診・聴力検査なども一緒にお願ひさせていただくことがあります。</p> <p>保険診療の遺伝学的検査用に採血し、検査を実施した後の残余検体を用います。保険診療の遺伝学的検査を実施しない場合およびご家族の方に関しては、採血、あるいは必要に応じて口の中の粘膜や唾液などを採取させていただきます。</p> <p>提供していただきました血液および臨床情報は匿名化 ID を割り振り、個人が特定できないようにした後に DNA を取り出して、原因の候補遺伝子を解析します。候補遺伝子の解析を実施しても原因が特定できない場合には、解析対象を全遺伝子まで広げて解析を行う場合もあります。また、健康保険で実施される遺伝学的検査の結果に関しても調査させていただきます。</p>

参加撤回の自由	<p>この研究への参加は任意です。あなたの自由な意思が尊重されます。研究に参加しないことによって、今後の診療で不利益な対応を受けることはありません。</p> <p>いったん参加に同意した場合でも、いつでも不利益を受けることなく同意を撤回することができます。その場合、調査資料は廃棄され、それ以降は診療情報が研究のために用いられることもありません。</p> <p>ただし、同意を撤回したときすでに研究成果が論文などで公表されていた場合や調査資料が完全に匿名化されて個人が特定できない場合などには、調査資料を破棄できないこともあります。</p>
問合せ先	青森市民病院 耳鼻いんこう科 佐々木亮 電話：017-734-2171